

2025年（令和7年度）

第22回 草加市少年野球交流大会

出場チーム

- | 草加市少年野球連盟 | 草加市スポーツ少年団野球部会 |
|--------------|----------------|
| 1 草加ボーイズ | 1 谷塚グレートジャガーズ |
| 2 翼少年野球 | 2 小山ファイヤーズ |
| 3 草加リトルパンサーズ | 3 両新田レオーズ |
| 4 草加西町ドラゴンズ | 4 高砂ヤンキース |
| 5 北友コンドルズ | 5 八幡メッツ |
| 6 ニューダイヤフレンズ | 6 青柳バッファローズ |
| 7 花栗コンドルズ | 7 草加ファルコンズ |
| 8 新栄ジャガーズ | |
| 9 長栄タイガース | |
| 10 宮沼ファイターズ | |

主催 草 加 市 少 年 野 球 連 盟
主管 草 加 市 少 年 野 球 連 盟
共催 草加市野球連盟スポーツ少年団野球部会
後援 草 加 市 教 育 委 員 会
協賛 朝 日 新 聞 社
協賛 ポ ラ ス 株 式 会 社

令和7年度
第22回草加市少年野球交流大会
【大会役員・審判】

(敬称略)

大会会長	草加市少年野球連盟	会長	種子島 久代
大会副会長	草加市スポーツ少年団本部	本部長	脇坂 智也
大会実行委員長	草加市少年野球連盟	理事長	西山 敬二郎
大会副実行委員長	草加市野球連盟スポーツ少年団野球部会	会長	足立 博行
会 計	草加市少年野球連盟	会 計	男石 秀雅
	草加市野球連盟スポーツ少年団野球部会	財務部長	米窪 康幸
大会実行委員	草加市野球連盟 役員・理事		
	草加市野球連盟スポーツ少年団野球部会 役員・運営委員		
大会審判長	草加市少年野球連盟	審判長	吉永 敏雄
大会副審判長	草加市野球連盟スポーツ少年団野球部会	審判長	佐藤 政治
大会審判員	草加市野球連盟 審判員		
	草加市野球連盟スポーツ少年団野球部会 審判員		

令和7年度
第22回草加市少年野球交流大会
【実施要綱】

1. 趣 旨 草加市少年野球連盟と草加市野球連盟スポーツ少年団野球部会に所属している少年野球チームが一堂に会し、親善を深め、青少年の心身の育成及び技術の向上を目指し、少年野球の普及および発展に努める。
2. 大会期間 令和7年9月14日(日)・21日(日)・23日(火祝)
※ 予備日9月27日(土)28日(日) 10月4日(土)
※ 初日予備日9月15日(月) 20日(土) 総合グラウンドA面
3. 大会会場 そうか公園A・B・C・D面、総合グラウンドA・B面、清掃グラウンド
4. 参加資格 草加市少年野球連盟または草加市スポーツ少年団に登録され、傷害・物損保険に加入している選手と指導者。
5. 参加チーム
 - ・ 草加市少年野球連盟 10チーム
 - ・ 草加市スポーツ少年団 7チーム
6. 参加費 1チーム ¥5,000-
7. 使用球 使用球は、連盟公認の「軟式J号」とする。
(各チーム:2個/試合をメンバー交換時に持参する。)
8. 試合方法 トーナメント方式とする。
 - ・ 競技進行上に関することは、別記した以下の注意事項等による。
 - (1) 競技運営に関する注意事項
 - (2) 大会要項および取り決め事項
 - (3) 大会特別規則
9. 表彰 優勝：優勝旗、賞状、盾、トロフィー
準優勝：賞状、盾、トロフィー
第3位：賞状、盾、トロフィー
10. 開会式 令和7年9月14日(日) 10:00(受付9:30~)
総合グラウンドA面 全参加チーム
11. 代表者会議 令和7年8月23日(土) 代理抽選
草加市文化会館
12. 閉会式 令和7年9月23日(火祝) 決勝戦終了後(ブラカード持参のこと)
そうか公園多目的運動広場A面
13. 雨天時 午前6時までに降雨およびグラウンド状況により判断する。
連絡は、各所属団体の方式による。
14. 特別要項 (1) 本大会の日程が他大会と重なった場合は、当該チームが参加可否を決定する。
但し、大会初日の学校行事についてのみ、考慮(協議)する。
15. 駐車場 各会場での駐車台数は、各チーム5台以下とする。
※ 但し、そうか公園北側駐車場に限り、各チーム3台以下とする。

令和7年度
第22回草加市少年野球交流大会
【実施要項-1】

【競技運営に関する注意事項】

1. 実施要項に定められた事項は、チーム全員に必ず徹底させること。
2. 選手の登録は20名以内とし、選手登録名簿を大会本部に提出すること。
3. 選手登録名簿の提出後は、選手の追加及び変更は認めない。
4. 選手の背番号は、0～20番までとし、主将は10番とする。
5. 指導者の背番号は、監督30番、コーチ29番から23番とする。
但し、監督または指導者が不在の場合は、登録された代理指導者がベンチに入ることを認める。
6. ユニホーム（帽子含む）は、同色・同形・同意匠とする。但し、合同チームを除く。
7. 試合中、ベンチに入れる人員と人数は、選手20名以内及びチーム代表者1名、指導者（スコアラー1名含む）5名以内とする。なお、代表者及びスコアラーは、スポーツ行事にふさわしい服装で入ること。
※ 代表者の代理は認めない。
8. ベンチは、組み合わせ番号の若いチームを1塁側とする。続けて試合を行う場合はベンチの入れ替えをしない
9. ベンチの中では、電子機器類（携帯電話、パソコン等）の使用は禁止するが、電子スコア記録用として1台の使用を認める。但し、メガホンは監督に限り使用を認める。
10. メンバー表（4部（1部返却））の交換は、原則として試合開始予定時刻の30分前、または前の試合の2回終了後（第1試合は試合開始30分前）に行う。その際、攻守の決定を行う。
※ メンバー表には必ず学年を明記すること。
11. 第二試合以降は、試合開始予定時刻前でも前の試合が終了後準備でき次第次の試合を開始する。
但し、天気が危ぶまれる場合などはこの限りではない。
12. 試合開始時刻になっても会場に来ないチームは、原則として試合を棄権したとみなす。
13. 試合が予定時間以上延長した時は、その日行う以降の試合を別の会場で行うこともある。
14. シートノックは5分間とし、第1試合の前のみ行う。但し大会運営の関係で行わないこともある。
15. グランド内（各会場敷地内）でのフリーバッティングを禁止する。
16. ファウルボールは、自ベンチ側のものは、そのベンチ側で処理し、球審に届けること。但しバックネット側のものは、攻撃側で処理すること。＊ケガ防止の観点から徹底願います
17. 小雨の場合でも、球場が使用可能な状態の場合は試合を行う。
18. 試合はフェアプレーを基本とし、危険なプレー及び好ましくない野次を厳禁する。
19. 選手の健康管理のため、保護者2名以内がベンチ内に入ることを認める。但し選手の体調管理に専念することとし、写真撮影及び応援は禁止とする。
20. バットは、全軟連公認のJSBBマーク付を使用すること。木製バットは使用を認める。一般用バットのうち打球部にウレタンなどの素材の弾性体を取り付けたバットの使用を禁止する。
21. ヘルメットは、打者及び走者の危険防止のため、全軟連公認の耳付きを使用すること。
22. 捕手は、全軟連公認マーク付きのマスク（安全帯付きスロットガード付き）、レガース、ヘルメット、プロテクター、及びファールカップを着用しなければならない。
23. 用具の点検を、試合開始に先立って審判員が行う。
全軟連公認ではない用具や、キズ、凹み、破損などを見つけた時は、使用を認めない。
24. 投手が手首にリストバンドを使用することを禁止する。但し打者、走者、守備の時のリストバンド及び手袋の使用を認める。
25. サングラスは、投手のミラーレンズを除いてその使用を認める。ただし、その際は正しく着用することとし帽子の上のサングラスは禁止とする。
26. 試合終了後は、使用した両チームによりグラウンド整備を行うこと。
27. 2年生以下が出場する場合には、胸部保護プロテクターの着用を推奨する。
28. 総合グラウンドでは外野ネットの設営を行わない。そうか公園グラウンドでは外野ネットを設営する。但し上記以外でのグラウンドで試合を行う場合は両団体協議の上決める。

【事故等の対応】

大会に参加した役員、審判員、指導者、選手及び応援等の父兄等のすべての不慮・不測の事故等については、すべて各個人及びチームの責任において処理すること。

令和7年度
第22回草加市少年野球交流大会
【実施要項-2】

【大会特別規則】

1. 試合は、6回までとし、4回（3回1/2）をもって成立する。
2. 試合時間は1時間30分とし、試合開始後1時間30分を経過した後は、新しい回に入らない。
3. 1時間30分経過後、もしくは6回終了後に同点の場合は、タイブレークで勝敗を決定する。
4. タイブレークは以下の方法で行う。
 - (1) 継続打順、無死1、2塁とし、走者は前回の最終打者を1塁、順次その前打者を2塁走者とする。
 - (2) 選手の交代は、通常の規則によって認められる交代は許される。
 - (3) タイブレークを2回行い、決着がつかない場合は、抽選とする。
抽選は、○印×印(各9枚)が入った封筒18枚を、試合終了時に出場していたメンバー9名が先攻チームより一人ずつ交互に選ぶ。
5. コールドゲームは、得点差が3回（2回1/2）終了時以降10点差、4回（3回1/2）終了時以降7点差とする。ただし、決勝戦は4回7点差とする。
6. 暗黒・降雨時は、4回（3回1/2）終了で成立とし、それ以前については特別継続試合とする。
※ 投球数は引き継ぐ。
7. 抗議のできる者は、監督、当該プレーヤーのうちの1名とする。
8. 審判員は、試合開始に先立って、用具の点検等を行う。
9. 試合はスピーディーに行う。
 - (1) 1イニング目と投手交代時の投球練習は、7球を1分以内とし、その他のイニングは3球とする。
 - (2) 打者は、速やかに打席に入り、打撃姿勢をとること。なお準備投球中は次打者席を離れないこと。
 - (3) 攻守交代は、駆け足で行うこと。
 - (4) 試合に出ている選手の負傷治療が長引くような場合は、相手チームの了解のもとに臨時代走（投手と捕手を除いた前打者）を認め、試合を進行する。
 - (5) 投手の12秒及び20秒ルールの導入について本大会は採用する。
但し、今大会は違反した場合でも1回目（同一投手）はボール宣告は行わずに注意を伝える。
10. タイムの制限
 - (1) 試合中に選手が、スパイクの紐を結び直すためのタイムは認めない。
 - (2) タイムは、1分間を限度とする。ただし、審判が認めた時はこの限りではない。
 - (3) 守備側からの「タイム」で試合が停止されたときは、その間の投手は捕手を相手に投球練習をしてはならない。
 - (4) タイムの回数は、監督、野手、攻撃側それぞれ3回とする。選手交代の監督タイムはカウントしない。
タイブレークでは、1回とする。
11. グランド状況によるデッドラインを超えた場合は、野球規則通りの進塁ができる。
12. 打者が頭部にデッドボールを受けた時は、球審は直ちに臨時代走の措置を行う。この場合の臨時代走は、投手と捕手を除く前打者とする。
13. 投手の投球制限
 - (1) 一人の投手の1日の投球数は、70球までとする。（70球目に対戦した打者を終えるまでとする）
※4年生以下は60球までとする。（60球目に対戦した打者を終えるまでとする）
 - (2) ダブルハッター及びタイブレークの場合も適用する。
 - (3) 投球数は、大会本部で管理する。
14. 安全確保のため、試合開始前のベンチ前での練習については禁止とし、外野での練習を可とする。
15. 試合中、ベンチ前のキャッチボールを禁止するが、ブルペンでのキャッチボールは、2組4名以内を認める。その際、安全確保のための指導者を1名つける。
16. 控え捕手について
 - (1) 選手が控え捕手となる場合は、マスク・レガース・プロテクターを全て装着すること。
着用しない場合は立って捕球する。（準備投球・ブルペン投球とも）
 - (2) 試合中、ブルペンおよび準備投球での指導者の捕手は認めない。
17. 投手が投球動作に入ったら声出し禁止する。（マナーアップ）
18. 指名打者制度での二刀流投手は認めない。
19. 大会規則に定めのない事項については、全日本軟式野球規則を準用する。

令和7年度
第22回草加市少年野球交流大会
【実施要項-3】

【競技規則特別ルールの規定（試合前のバットを使用した練習について）】

〈2024年6月8日 改訂〉

試合前のバットを利用した練習について、原則以下の通り定めることとします。

1. 全ての試合会場内において、試合球及び練習球を使用したフリーバッティングは認めない。
※ トスバッティングは認める。
2. 特別ルールとして、試合前のバットを利用した練習について、試合会場毎に以下の通り認める。
 - (1) そうか公園多目的グラウンド内・総合グラウンド内
 - ・ 素振り
 - ・ バント練習
 - ・ サンドボールでの練習
 - ・ カラーボールでの練習
 - ・ 羽での練習※ 対象エリアは、試合用グラウンドの外野、及び試合会場内の練習エリア（空きスペース等）のみ
 - (2) 清掃グラウンド内・各小学校校庭
 - ・ 素振り
 - ・ バント練習
3. バットを利用した練習は、以下の事項を遵守すること。
 - ・ いずれの練習においても、決められた場所にて指導者が十分に安全に配慮すること。
 - ・ そうか公園については、多目的グラウンド内（団体として利用許可を得ている場所）以外のバット、ボールを利用した練習は一切禁止。ルールを守れない団があれば、別途ペナルティを課す。
 - ・ いずれのグラウンドにおいても外周ネット等、施設設備への打ち込み、投げ込みは禁止。